

ステップアップレッスン・今月のテーマ : どっちが大きい?

1	Do you like Big-tin? Yes, he is very (big)! あなたはビッグティンが好き? はい、とても(大きい)からね。
2	Do you like him? Yes, I like (Big-tin)! あなたは彼が好き? はい、私は(ビッグ・ティン)が好きです。
3	Which do you prefer, (Big-tin) or (Small-tin)? あなたは、(ビッグ・ティン)と(スモール・ティン)とでは、どちらが好きですか?
4	I prefer (Small-tin). スモール・ティンのほうが好きです。
5	I like both of them. 僕は両方とも好きだよ。



## Native Teacher's Room

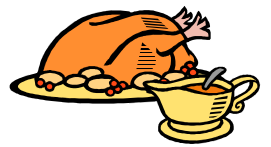
Halloween has passed and we're getting into my favorite season! November is a time of celebration in America when we have a great feast and give thanks for blessings in our lives. Although I miss the various foods I can't get here in Japan, I am thankful for my family and continued efforts of our students. Testing time is coming soon, so keep studying hard, everyone! Mike

ハロウィンが終わると僕の大好きな季節がやってきます。アメリカでは11月は恵みに感謝し、祝宴を挙げる、お祝いの月です。日本では手に入らない食べ物を恋しくも思いますが、自分の家族とたゆまない努力を続けてくれる生徒のみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。さて、もうすぐテストです。みんな頑張ってくださいね。マイク

## Director's Room

毎年、ハロウィンが終わって、「次はクリスマスだー」とハロウィンの装飾からクリスマスの装飾にチェンジしようとすると、マイク先生に怒られてしまいます。クリスマスの前に、「サンクスギビング(感謝祭)」があるようです。感謝祭が終わるまではクリスマスの飾りつけはご法度だとの事です。そこで、今日は、感謝祭について、少し、ご紹介したいと思います。

感謝祭は、イギリスからマサチューセッツ州のプリマス植民地に移住したピルグリムフザーズの最初の収穫を記念する行事との事です。ピルグリムがプリマスに到着した1621年の冬は大変厳しく、大勢の死者を出したが、近隣に居住していたインディアンのワンパノアグ族の助力により生き延びることができました。翌年の秋は、とりわけ収穫が多かったため、ピルグリムはワンパノアグ族を招待して、神の恵みに感謝して共にご馳走をいただいたことが始まりだそうです。現代では、宗教的な意味合いはかなり弱く、現代アメリカ人の意識の中では、たくさんの親族や友人が集まる大規模な食事会であり、大切な家族行事のひとつと位置づけられています。



### Japan's 'unlikely' Nobel Prize-winner

### 今月の読み物

### 山中さんにノーベル賞

Olympic athletes and members of World Cup national teams are not the only "representatives of Japan." During the long weekend, tennis player Kei Nishikori scored his second tour victory in Japan and the racehorse Orfevre narrowly missed a win, finishing second by a neck in the Prix de l'Arc de Triomphe in Paris. And now, Kyoto University professor Shinya Yamanaka, 50, has been named a co-recipient of the 2012 Nobel Prize in Physiology or Medicine.

The induced pluripotent stem (iPS) cell pioneered by Yamanaka can develop into all kinds of human tissue and is expected to be a key breakthrough for regenerative medicine. The research, which "has yet to save anyone," as Yamanaka modestly puts it, is still continuing.

But the day may come when cells taken from our own skin can be used to cure our ailing organs. I hear Yamanaka receives constant words of encouragement as well as requests for advice from patients and families struggling with intractable diseases. He must find it gratifying, and at the same time humbling, that so many people are counting on him.

Recently, his colleagues created ova from the iPS cells of mice and successfully. As far as I can see, Yamanaka does not appear unapproachable. He looks like: The Nobel Prize, too, is not a goal but a new beginning. If research advances, let us all celebrate the feats of "active minds" that lead the way to the future

「日本代表」は五輪やW杯だけではない。連休中、テニスの錦織圭選手は母国でツアー2勝目をあげ、パリの凱旋門賞に挑んだオルフェーヴルは首の差に泣いた。そして、山中伸弥京大教授(50)のノーベル医学生理学賞である。

教授が先駆けた「iPS細胞」はあらゆる人体組織となり、再生医療の切り札と期待される。ご自身が「まだ一人も助けていない」と謙遜した通り、いわば現在進行形の発明だ。

自分の皮膚から作った細胞で、臓器を治せる日が来るかもしれない。山中さんには、難病の患者や家族から激励と相談が絶えないと聞いた。「待つ人」の存在はありがたくも、身が引き締まる思いだろう。

同僚のチームはマウスのiPS細胞から卵子を作り、子を誕生させた。万能細胞をめぐる日進月歩を、山中さんは冷徹に見守る。今は京大iPS細胞研究所の初代所長として、倫理面など、ほやほやの技術の管理にも関わる立場となった。

お見かけする限り近づきがたさはない。白衣より小じゃれたジャケットが似合う、ナイスミドルの趣だ。19歳で芥川賞を受けた綿矢りささんが、苦節何年の風情から遠かったのを思い出す。「らしくない」人の栄誉は、清新でいい。

この賞も、ゴールではなく新たなスタートだろう。道を探れば、一人の医者が一生かけて救える命の、何倍もを救える。まだ見ぬ功績は「日本代表」の域を超えて、人類史に刻まれるかもしれない。未来につながる「現役の頭脳」の快挙を、ともに喜びたい。

### 11月の予定表

10月27日(土)	児童英検試験日[午後]
11月3日(土・祝)	レッスンお休み
11月23日(金・祝)	祝日ですが、通常通りレッスンを行います。
11月29日(木)	フォニックス・ステップアップレッスンのみお休み
12月22日(土)	クリスマスパーティー

桑名中央校  
〒511-0058  
桑名市千代田町38岡村ビル3F  
TEL 0594-27-4070 FAX 0594-27-4051 wb-kuwanac@dct-ie-mie.jp